

かめだより

発行：医療法人鉄蕉会 亀田総合病院/地域医療支援部・地域医療連携室

〒296-8602 千葉県鴨川市東町929

TEL：04-7099-1261(内線7156)

発行責任者：亀田俊明 編集責任者：蔵本浩一

index

P2 … 特定行為看護師の活動について

(シリーズ1：地域の医療を支えていく特定行為看護師の育成)

地域医療連携と「NOBORI」の活用

(シリーズ1：患者さまカルテ「NOBORI」とは)

P3 … 経営企画部のご紹介

P4 … 地域医療機関さまより

P5 … 当院診療科より

P6 … コロナに負けるな! 医療者のメンタルヘルス支援への取り組み

(第1回 COVID-19 メンタルサポートチームの始まり)

P7 … スタッフひろば

看護部長就任あいさつ

P8 … トピックス

勉強会情報



特定行為看護師の活動について



シリーズ1 「地域の医療を支えていく特定行為看護師の育成」

卒後研修センター 副センター長 飯塚裕美

1. 特定行為に係る看護師の研修制度

2015年10月、保健師助産師看護師法の一部が改正され、「特定行為に係る看護師の研修制度」が開始されました。特定行為研修は、看護師が手順書により特定行為を行う場合に特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び能力の向上を図るための研修になります。特定行為研修は、共通科目と区分別科目で構成され、共通科目は、臨床病態生理学、臨床推論、フィジカルアセスメント、臨床薬理学、疾病・臨床病態概論、医療安全学・特定行為実践であり、区分別科目は、21区分の特定行為区分、38の特定行為になります。当院は、2019年8月に厚生労働省に特定行為研修指定研修機関としての指定を受け、2019年9月に特定行為研修を開始し、2020年10月に最初の研修修了者15名が誕生しています。

2. 特定行為看護師とは

特定行為は、診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされる38行為を示します。特定行為看護師は、医師がいない状況で、患者のフィジカルアセスメントを行い、看護の全人的な視点を踏まえて臨床推論を行い、その判断のもと手順書により特定行為を実施します。特定行為看護師は、患者や家族の不安や疑問について、よりタイムリーに正確に対応することができ、ケアの

受け手が満足できるように安心・安全・安楽な看護を提供することができます。

3. 当院の特定行為研修

当院の特定行為研修は、厚生労働省の研修制度に則り、地域の特徴を踏まえた特定行為看護師の育成や看護師が働きながら学習できる環境を整えて研修を計画しています。この地域において、当院の特定行為研修は急性期から在宅まで、様々な領域で患者の状態を見極め、ニーズに迅速かつ効果的に対応するために、特定行為を活用して看護の専門性を発揮する特定行為看護師を育成することを目的としています。1年間を特定行為研修期間とし、最初の半年で共通科目を履修し、後半に特定行為区分を履修します。看護師が働きながら学習できるように、講義はeラーニングを活用しています。また、eラーニングで学んだ知識を深め、統合するために、月に2回、演習・実習としてロールプレイやグループ討論を行います。特定行為区分は、選択した行為ごとに演習や実習(各5症例)を行います。3期生からは、慢性・在宅領域パッケージを受講することができます。詳細は、当院のホームページをご覧ください。<http://www.kameda-resident.jp/nursing/index.html>

今回は、当院の特定行為看護師のPICCチームについてご紹介いたします。

地域医療連携と「NOBORI」の活用

シリーズ1：患者さまカルテ「NOBORI」とは

鉄蕉会 情報管理本部 本部長 中後 淳



昨年の「かめだより」で患者さまカルテ「NOBORI(ノボリ)」をご紹介しました。亀田グループでは2002年から患者さまへのカルテ公開を行っています。2019年にシステムを「NOBORI」に更新し、大幅に機能向上を図っているところです。間もなく新しい機能追加が予定されることもあり、シリーズを4回に分けて、改めて「NOBORI」についてご紹介するこ

とになりました。1回目の今回は患者さまが利用できる機能について紹介します。

導入以降「NOBORI」のサービスはすべて無料で提供してきましたが、無料版と有料版でサービスを分けることになりました。無料版では、過去1年分の検査結果や処方されたお薬の情報の閲覧、通院履歴や予約の情報の閲覧、診察時間が近くなったらお知らせする機能(亀田クリニック・亀田京橋クリニック・亀田IVFクリニック幕張の



メディカルレポート

経営企画部のご紹介

経営企画部長 野々村 純

病院経営をめぐる環境は年々厳しくなっていると言われて
います。当会も例外ではありません。特にコロナ禍
では経営の舵取り次第で毎月の売上や利益が大きく変動
します。毎口ドキドキいたします。

ところで「経営」とは一体何でしょうか？ ①付加価値
をご提供することでお客様や地域の皆様の幸福に貢献
し、②（職員と将来への投資のために）利益を出し、③職
員とその家族の幸福を実現する、という三つのことを一
つのサイクルとして継続することではないか、と個人的
には考えています。私共にとつてお客様とは、患者さま
や地域の医療機関さま、あるいはお取引先さま、など
です。その皆様に喜んで頂ける付加価値とは何か。当会を
選んで頂くために何を差別化して（磨いて）いくのか、そ
れぞれのサービスの売上とコストのバランスをどうすれ
ば利益が出るのか。その利益をどのように給与や投資に
配分するのか。

経営企画部の仕事とは、正にこれら全てに関わること
を医療スタッフの裏方として企画し実行する、というこ
とです。中々一筋縄ではいきません。まず患者さまに喜
んで頂くためには「優れた医療サービスをご提供」しなけ
ればなりません。速やかに病気の原因を明らかにし治療
することについては、もちろん全力でスタッフ一同が頑

張っております。そのために最新の医療機器や治療薬も
いち早く導入しております。一方、ご予約のお電話が通
じない、待ち時間が長い、ご紹介頂いた地域の先生方に
御礼と状況のご報告が行き届いていない、といったお声
も多数頂戴しており、これらの改善も急務です。コロナ
対応では、昨年の春にマスクやPPEが不足した際には
中国から緊急輸入したこともございました。PCR検査
の結果を当日中にお知らせし、海外渡航のビジネスパー
ソンへの証明書を発行するサービスも開始いたしました。
ワクチンの集団接種もいよいよ始まりました。地域
の皆様に加え、都心部や県北の職域からのご要望にお応
えすることも大きな課題です。

経営企画部が現在取り組んでいる大きなプロジェクト
を幾つかご紹介いたします。一つは、亀田総合病院の
北側に災害時対応を行う新棟を建設することです。地震
や台風など大きな自然災害が発生した際に近隣住民や帰
宅困難者の一時避難に加え、停電や断水になっても医療
サービスを継続できるようにいたします。もう一つは、
手術室の増設です。コロナに限らず感染症の患者さまで
も万全の対応で手術ができる体制を整え、これまで以
上に多くの治療ニーズにお応えできるよう尽力いたしま
す。新棟も手術室も現在工事中で、共に2022年3月
完成予定です。当部は病院の黒子ではございますが、多
くの皆様のお役に立つよう頑張っております。

み)、受付時に使用するバーコードの表示機能などに加え、
10月頃には過去5年分の健康診断・人間ドックの結果票
を参照する機能や、クレジットカードによる医療費後払い
サービス機能が追加されます。

また、今までは「NOBORI」を利用するために各病院窓
口での登録手続きが必要でしたが、無料版ではスマート
フォンから診察券番号と保険証の保険者番号を入力する
ことで、SMS認証(ショートメッセージで送られてきた認
証コードで利用登録する方法)による登録が可能になりま
す。窓口で手続きすることなく利用可能になりますので、
気軽に登録することができるようになります。

有料版は月100円の利用料をスマートフォンのアプリ
課金で支払う仕組みで提供します。有料版では無料版の

サービスに加え、登録日翌日からのカルテ情報やCT・
MRIなどの画像情報、検査結果のレポートや、2000年
以降の検査結果や処方されたお薬の情報が閲覧可能にな
ります。有料版は、カルテ情報など大切な個人情報を取
扱うため、今まで通り各病院窓口で本人確認が必要です。

「NOBORI」は亀田グループに限らず、「NOBORI」に
参加している病院であれば、同じアプリで同じサービス
が提供される皆さまの健康管理アプリとして進化するこ
とを目標にしています。スマートフォンでもパソコン(イン
ターネットブラウザ)でも利用可能ですので、ぜひご登録
を検討してみてください。

「NOBORI」ホームページ <https://nobori.me/>

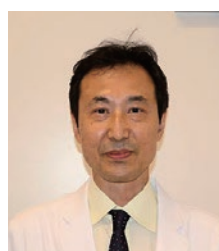


地域医療機関さまより



鴨川市立国保病院

院長 小山照幸



当院は鴨川市唯一の市立病院です。昭和23年にこの地で開院以来73年間、周辺地域の方々が健康で安心して生活していただけるように、その役割を務めてまいりました。

昭和48年に開院した旧病院建屋は48年間の年月を経て、老朽化し、様々な箇所に修理が必要な状態となり、このたび市民の多くの皆様の要望に応じて、病院を建て替えていただきました。新病院は鉄筋コンクリート造り地上3階建てで、1階に外来、検査室、レントゲン検査室、リハビリテーション室、事務部門があり、2階3階を入院病棟としています。病床数は70床：一般病棟 52床（地域包括ケア病床）、療養病棟 18床（医療療養病床10床、介護療養病床8床）で、全室個室となっています。そのため、入院患者のプライバシーが守られると同時に、現在蔓延している新型コロナウイルス感染症のような感染症対策としては非常に有効です。

4月26日に千葉県知事から新病院の診療許可をいただき、4月28日に入院患者様の移動を行い、5月1日から外来診療を開始したところです。新病院への移転に伴い、紙カルテから電子カルテへ移行しました。それにより外来、入院診療における迅速かつ効率的な診療環境が整いました。しかし今まで電子カルテなど使ったこともない職員がほとんどであり、慣れないシステムに奮闘

している毎日です。

当院の診療科は、内科、小児科、循環器内科、神経内科、整形外科・スポーツ整形外科、リハビリテーション科、眼科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、皮膚科、禁煙外来、歯科を標榜しており、常勤医師5名、歯科医師2名で、そのほかに非常勤の医師により診療を行っています。病院機能の他に、鴨川国保訪問看護ステーション（訪問看護事業所）、鴨川国保ヘルパーステーション（訪問介護事業所）、鴨川国保ケアプランサービス（居宅介護支援事業所）を併設しています。それも合わせて職員数は総勢129名で、病院の建物は大きいですが、業務内容からするとスタッフ数は少なく、毎日忙しく働いています。

日本は世界に先駆け、少子高齢化が進んでいます。地方においてはそれが顕著に見られ、鴨川市も例外ではありません。健康な状態で生涯を終えることができれば、それに越した事はありませんが、誰でも加齢とともに何らかの病気を発症します。そしてその病気を抱えて生活していかなければなりません。行動範囲が狭まり、身近に医療機関が必要になります。当院では往診、訪問看護、訪問リハビリテーションも実施しており、長狭地域においては、当院が周辺地域の方々の健康で安心した生活を送っていただけるように、医療から介護まで担わせていただきたいと思います。しかし当院でできることはどうしても限られているため、専門的な診察や検査・治療が必要と判断した時には、最寄りの亀田総合病院へ相談させていただきたいと思います。そして急性期の治療が終わり、病状が落ち着いたところで、当院へ戻っていただき、その後の治療を続けさせていただきます。みなさんの心よりどころとなるような病院でありたいと思っています。身体のことから介護のことまでどうぞお気軽に相談してください。お待ちしております。





東洋医学診療科
部長 南澤 潔



東洋医学診療科では2名の日本東洋医学会認定漢方専門医が、東洋医学的な視点から診察診断し、エクス剤のみならず生薬による煎じ薬も活用して、さまざまな症状に苦しんでいる患者さまを診療しています。亀田のような病院に、独立した漢方専門の科があるのは不思議に思われるでしょうか？

現代医学はミクロの世界に分け入って生命の神秘を次々解き明かし、とくにヒトゲノムの全解読を終え、最近ではmRNAを応用して短期間で新型コロナに対するワクチンを実用化しました。医学は日進月歩です。ところがミクロの世界に入りすぎると却って見えにくくなるものがあります。



この図、なにかおわかりでしょうか？ ヒントは「離」れてみるとわかる、です。

図 岐阜新聞 2020 5/6 より引用

このように、マクロの視点で俯瞰することで初めて見えてくるものがありますが、これは生体にも言えると思います。人間は37兆とも言われる細胞と、それを上回る数の共生細菌からなる、有機的な複合体です。漢方はその超複雑系である生体の全体像をマクロ的に捉えて診療するのが特徴です。その治療

に長年の経験知である生薬の特定の組み合わせ（レシピ）、つまり漢方薬を用いるのです。

決して漢方薬を使うことイコール漢方医療ではないのです。東洋医学的に捉えた異常を漢方薬を用いて治療することで、患者さまの状態を最良の状態に導く。そうやって患者さまが本来持っている治癒力、闘病反応を最大化することが漢方医療の本質です。個人的には漢方は心身ひっくるめて生体の「コンディショニング」が真髄だと考えています。なので、主に病気の原因にダイレクトに働きかける現代医学と、病気の原因ではなく医療を受ける側である患者さまの状態に働きかけて治癒する力を鼓舞する漢方は、本来車の両輪として常に併用されるべきものだと考えています。

通常の医療では難治だったり予後が芳しくなかったり、対応のしようがないものが漢方治療で良くなることはよく経験されます。例えば「不定愁訴」にしか見えない、いろいろ検査しても異常が見つからない体調不良が、東洋医学的に診ると明らかに異常があつて、比較的簡単に良くなってしまふ、なんてことも珍しくありません。先生方がきちんと治療しているのにどうも経過が思わしくない、様々な症状があつてどうにかしてあげたいけど、異常が見つからずどうしようもない、といった患者さまがいらしたらぜひ、お気軽に当科へご紹介ください。当科は生薬含めて保険診療での漢方治療を行っておりますので、漢方は高額なんじゃないか？ という御懸念も無用です。

なお、当科は月曜から土曜日まで毎日外来を行っておりますが、東洋医学の初診は非常に時間がかかるため、通常の外来枠とは別個に初診予約枠を設け、完全予約制となっております。お手数をおかけしますが、受診いただく患者さまには必ず初診予約をお取りになってから来院されるようご説明ください。

また当院は日本東洋医学会の指定研修施設となっております。漢方にご興味がお有りの先生がいらしたら見学、また漢方専門医を目指した研修も可能ですのでお気軽にご連絡ください。



コロナに負けるな！ 医療者のメンタルヘルス支援 への取り組み

第1回

COVID-19 メンタルサポート チームの始まり

亀田総合病院臨床心理室
臨床心理士・公認心理師 富安哲也

COVID-19の感染が徐々に広がり、日本全国に緊急事態宣言が発令された2020年4月7日、当院においてもCOVID-19の患者さまが数名入院しており、院内のスタッフからは不安の声が聞こえ始めていました。そしてメンタルヘルスに関わるスタッフ数人が「何かできることがあるのでは？」と考え、少しずつ動き始めたのもこの頃でした。

当初より、これが個々の相談というレベルで解決できるものではなく、組織の中のシステムとして対応していかないといけない状況であることははっきりしていましたので、心療内科・精神科の部長や看護部長などの力をお借りして、院内の組織として正式にチームを結成するに至りました。そしてできたのがCOVID-19メンタルサポートチーム(COVID-19 Mental Support Team: 通称COMST)です。

スタッフは、心療内科・精神科医師、緩和ケア科スタッフ(医師、看護師、チャプレン)、在宅診療科医師、臨床心理士をコアメンバーに、医療安全管理室、総合相談室、すでにできていた新型コロナウイルス感染対策本部など、様々な部署からも加わっていただきました。

日本各地の様々な病院においても、スタッフのメンタルヘルス対策を目的としたチームは動いていましたが、当院のように特定の職種や部署を超えて、関連する部署のスタッフでチームを結成していたところはほとんどありませんでした。それぞれの職種が普段から多職種連携を意識して、フォーマル、インフォーマルを問わずにコミュニケーションを取っていたことが大きく影響してい

たのではないかと思います。普段全くコミュニケーションを取っていない人たちが、こういった事態にいきなり集まっても、迅速な動きは取れなかったでしょう。

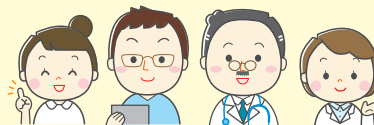
チームとしては、まず現場の看護師の状況やニーズの聞き取りを行いました。また学会や職種同士のネットワークを通じて他の施設での状況や対応について確認し、一斉休校が行われていた影響も懸念して子供へのメンタルヘルスクエアについて調べるなど、とにかく情報収集に徹していました。

情報収集をした結果として出てきたキーワードは「安心感」でした。COVID-19については噂も含めて様々な情報が飛び交っており、何が正しいのかが分かりにくい状況でした。そうした不確実で曖昧な状況において、多少なりとも安心感を持って院内のスタッフが日々の仕事に取り組めるよう、チームで何ができるかが課題になりました。

COVID-19については分からないことがたくさんありましたが、分からない状況で人間がどういう不安や恐れを感じ、そういった不安や恐れがどういう行動につながりやすいかについてはすでに知見がありました。そこで、まず不安についての心理教育を行うことにしました。心理教育を行うことで、今感じている不安が自然なものであることを知り、冷静に自分自身の状態を捉えてもらうことが必要だと考えたわけです。またチームの存在や相談窓口があることを知ってもらうことで、病院全体としてスタッフを支えようとしていること、何かあった時に駆け込める場所があることを皆さんに伝えることも重要だと考えました。

不安の心理教育については動画を作成して、院内のスタッフであればいつでも視聴できるように準備を行いました。またチームの存在や相談窓口については、ポスターを作成して貼ったり、院内の様々なコミュニケーションツールを使って広報したりしました。そこまでが活動の第一歩でした。法人全体へのアンケートなど、さらなる具体的な活動については、次回に報告をしたいと思います。

TEAM



スタッフ ひろば

地域医療連携室
メンバーから

今回のご紹介内容

- ・氏名
- ①部署 / 職種
- ②オススの本
- ③“おうち時間”の為に
取り入れた事・もの



蔵本 浩一

- ①診療部 疼痛・緩和
ケア科 医師
- ②美女と野郎(リリー
フランキー)
- ③体操吊り輪



大川 薫

- ①診療部 在宅診療科、
地域医療支援部 医師
- ②みらいめがね ~それ
では息がつまるので~
荻上チキ・ヨシタケ
ンスケ
- ③Netflix



草薙 洋

- ①診療部
消化器外科 医師
- ②人新生の「資本論」
- ③特にありません



宮地 康僚

- ①診療部
腫瘍内科 医師
- ②アルジャーノンに花
束を
- ③フライパン



渡邊 八重子

- ①看護管理部
看護師
- ②図解 渋沢栄一と
論語と算盤
- ③お家キャン用
「ハンモック」



杉田 登子

- ①地域医療連携室
看護師
- ②内田康夫サスペンス
- ③小さな「蘭」



川上 由美

- ①看護管理部
看護師
- ②チーズはどこへ
消えた
- ③健康グッズ



打野 弘子

- ①総合相談室
看護師
- ②特になし
- ③特になし



吉野 有美子

- ①総合相談室
看護師
- ②水の旅はるか
(絵本)
- ③ハーブ茶、アロマ
オイル



安室 修

- ①薬剤部
薬剤師
- ②1秒もムダに生かない
時間の上手な使い方
- ③去年のGWに 庭に
芝生を敷きました



鎌田 喜子

- ①総合相談室 MSW
- ②不思議ないきもの
ウミウシ(今本 淳
二見書房)
- ③マッサージシート&
いす(ドクターエア
プレミアム)



児玉 照光

- ①総合相談室MSW
- ②みんなとおなじくで
きないよ
(亀田総合病院 小
児科 湯浅先生作)
- ③特にありません



大野 知代

- ①亀田医療大学
教授(助産師)
- ②「夢をかなえるゾウ」
水野敬也著 文庫版、
飛鳥新社
- ③玄米ご飯で健康管理



中村 雅代

- ①地域医療連携室
事務
- ②行った気になる
世界遺産
- ③食器



林 裕子

- ①地域医療連携室
事務
- ②伝説の家政婦志麻さ
んのベストおかず
- ③サーモス真空断熱タ
ンブラー



黒川 亜純

- ①地域医療連携室
事務
- ②「不思議の国の海」
(海中写真集)
- ③多肉植物の育成



伊藤 博章

- ①地域医療連携室
事務
- ②ICELAND(アイス
ランドの写真集)
- ③家庭菜園



生稲 秋穂

- ①地域医療連携室
事務
- ②「未来」湊かなえ
③甥っ子的お世話を
する事



大橋 洋子

- ①地域医療連携室
事務
- ②蝉しぐれ
- ③アロマテラピー

看護部長就任ご挨拶

看護管理部 部長 渡邊八重子

6月1日付で医療管理本部看護管理部部長、亀田総合病院看護部部長に就任しました渡邊八重子です。どうぞよろしくお願い申し上げます。私は神奈川県川崎市で生まれ育ち、高校卒業後、亀田医療技術専門学校に入学し、卒業後は亀田総合病院へ就職しました。臨床実践看護師として十数年、ICU・CCU・ER・NCU(Neurosurgery Intensive Care Unit)を経験し、看護管理者として十数年経験しました。看護管理者を任されていた時です。看護学だけでは解けない問題に何度もぶつかり、マネジメント、医療安全、医療福祉など幅広い知識の必要性に迫られ、大学、大学院で学ぶことを決意し、経済学士、看護学修士、工学博士を取得するに至りました。2011年、亀田総合病院を退職。その後、亀田医療大学開学準備室に就職し、

2012年の開学を機に教員として活動をはじめました。学部生には基礎看護学を、2019年からは大学院生に看護管理、医療安全を教えることとなり、現在に至っています。ですので、今回、亀田総合病院(臨床)には10年ぶりに戻ってきたこととなります。この10年で医療関連法規・制度・政策が大きく変わり、亀田総合病院の役割・機能も拡大しており、“浦島太郎状態”を痛感しているところです。就任翌日、地域医療連携会議に参加し、これからの地域連携事業について知ることができました。微力ではありますが、これまでの自身のキャリアを活かしてできることから貢献していきたいと思っています。最後に、「人生100年時代」「高齢者の定義も変わる」「職業人生が長くなる」と言われています。自身の職業キャリアについて若い時から考え、計画を立て進むことが求められています。ここでの自己紹介(職業キャリア)が、看護職員のキャリア開発の1つのロールモデルになれば幸いです。

勉強会・研修会スケジュール

勉強会・研修会開催 2021年度スケジュール

【2021年度研修会・講演会スケジュール】

1. 2021年度

がん看護基礎コース研修

日程：1日目－2021年6月12日(土)＊開催済

2日目－2021年7月10日(土)

時間：8:00～17:30

会場：亀田総合病院 B棟 7階 看護研修室

対象：看護経験2年目以上で、がん看護に興味のある看護師

2. 2021年度

がん看護実践コース研修

日程：1日目－2021年10月30日(土)

2日目－2021年11月6日(土)

時間：8:00～17:00

会場：亀田総合病院 B棟 7階 看護研修室

定員：20名(院内10名、院外10名)

対象：がん看護経験年数2年目以上で、がん看護に興味のある看護師

両日出席可能でアンケートにご参加いただける方

締切：2021年10月15日(金)

＊同封のご案内・申込書をご参照ください

【国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会 第10回学術集会のご案内】

リンパ浮腫センター センター長 林明辰医師を
大会長として、国際リンパ浮腫フレームワーク・
ジャパン研究協議会第10回学術集会を以下の通り
開催いたします。

日 時：2021年9月4日(土) 9:15～17:30

会 場：亀田総合病院 Kタワー 13階
ホライゾンホール開催形式：現地及びWeb開催での、ハイブリット
形式※開催形式はCOVID-19の感染状況によ
り変更する場合がございます。テ マ：温故知新 未来へ発信するリンパ浮
腫治療のイノベーション特別講演：佐藤佳代子先生(さとうリンパ浮腫研
究所 所長)教育講演：関征央先生(聖マリアンナ医科大学
形成外科 講師)

シンポジウム：

秋田新介先生(千葉大学 形成・美容外科 講師)

穴田佐和子先生(ana治療院 院長)

田尻寿子先生(静岡県立静岡がんセンター
リハビリテーション科 理学療法士)宗定水奈子先生(東京純心大学看護学部看護
学科、がん・感染症センター都立駒込病院
がん看護専門看護師)祝広香先生(慶応義塾大学病院 リハビリ
テーション科 理学療法士)

ランチョンセミナー：

演者－小林範子先生(北海道大学病院 婦人科
講師)座長－辻哲也先生(慶応義塾大学 リハビリ
テーション医学教室)＊詳細・お申込みについては、[https://
www.10ilfj.com/](https://www.10ilfj.com/)をご参照ください。

今回ご案内しております研修会ですが、COVID-19の感染状況により、延期・中止の可能性もご
ざいます。ご了承くださいますようお願いいたします。